

校友会報

臨時増刊号

1997.7

理事長・校長に一期生 米山 義先生就任

新任のご挨拶

(卒業生の皆さんへ)

理事長・校長

米 山 義



卒業生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

すでに、皆さんも肌で感じられているとおり、医療情勢はますます大きく変動する兆しを見せてきております。来るべき世紀に、医療の中で鍼灸が今以上の重要性を増してくるだろうことは明白です。こうした中、本校が鍼灸教育にますます大きな役割を果たすべく努力していかなければならないことはいうまでもありません。申しあげるまでもなく、創設以来、本校はよりよい臨床教育を第一の目標にして日々歩んでまいりました。

この度、私は森 秀太郎 前理事長、花谷正男 前校長のあとをうけ、理事長・校長職を引き継ぎましたが、今後もこの方針は変わることはありません。私としまでも、前任者の意志を継いで、新役員とともに卒業生の皆さんのご協力を得ながら、ますますこの方針を徹底させていくつもりでおります。

役員の新陣容をご覧いただくとお分かりのように、さいわい、ほとんどが皆さんの在学中、教室で親しくさせていただいた教員です。今後とも、どうぞお気軽に学校へ立ち寄り、本校の発展のためによきアドバイスをいただきますようあらためてお願いいたします。

拝啓 時下ますますご清祥に涉らせられ大慶に
存じ上げます

さて私こと

このたび学校法人森ノ宮学園理事長を退任し名
誉理事長に就任いたしました

理事長在任中皆様には格別のご懇情を賜り有難
く厚く御礼申し上げます

なお後任理事長には米山 義が就任いたしまし
たので何卒私同様一層のご厚誼とご教示を賜り
ますようお願い申し上げます

先ずは御礼旁方ご挨拶申し上げます 敬具

平成九年水無月

森 秀 太 郎

拝啓 時下ますますご清祥に涉らせられ大慶に
存じ上げます

さて私こと

このたび大阪鍼灸専門学校校長を退任し名誉校
長に就任いたしました

校長在任中は皆様のご懇情を賜り有難く
厚く御礼申し上げます

なお後任校長には米山義が就任いたしましたの
で何卒私同様一層のご厚誼を賜りますようお願い
申し上げます

先ずは御礼旁方ご挨拶申し上げます 敬具

平成九年水無月

花 谷 正 男



新任のご挨拶

大阪鍼灸専門学校
理事 花 谷 幸 比 古

このたび、新しく母校の理事をやらせてい
ただくことになりました。顧みれば一期生と
して入学しましたのが、昭和48年4月のこと
であります。あれから25年の年月が流れ、今度は
逆に鍼灸医学のすばらしさをどのように教育
するか、を考える立場になってしまいました。

ご存じの通り大阪鍼灸専門学校は他校と比
較しましても小さな学校です。昭和48年の第
一回の入学式に、亡くなられた米山先生の挨拶
の中に、この学校を幕末の志士吉田松陰の松下
村塾のように少数精鋭でいく、とありました。
私も、この小さな学校を発展させるには、少数
精鋭で、すばらしい臨床家を育てていきたいと
思います。今後とも校友会の先生方のご協力
とご指導をよろしくお願いしまして、就任の
挨拶と致します。

生年月日 昭和25年 8 月 9 日

現 住 所 大阪市鶴見区鶴見3-13-76

昭和48年 皇学館大学文学部国史学科卒業

昭和50年 大阪鍼灸専門学校卒業

昭和52年 大阪鍼灸専門学校非常勤講師

平成 2 年 大阪鍼灸専門学校校友会副会長

平成 5 年 鶴見神社禰宜、梅家神社宮司、
鶴見鍼灸整骨院院長

平成 9 年 森ノ宮学園理事



新任のご挨拶

責務を果たしたい

大阪鍼灸専門学校
理事 三 木 完 二

突然の理事のお話を頂き、正直申しまして
驚きと戸惑いのさ中にいるのが実感です。大
阪鍼灸を卒業した時、臨床経験の豊富な師匠
につきたい一心で三木健次先生に弟子入りし
ました。師匠を岳父にする縁をいただき、没
後は患者さんを大切にすることに専念してま
いりました。ここ2～3年、鍼灸師であって
良かった、さらに気を引き締めて、と思っ
ていた矢先に頂いた今回の大役。まだまだ実績
のない私に、学校のお役に立てる機会を与え
られましたありがたさに感謝申し上げます。
大切な任務を縁あって委ねられました以上、
自分の持ち場と課せられた役割をしっかりと果
たし、米山先生を始め他の先生方と協力しあ
って励んでまいりたいと思いますのでどうぞ
よろしくお願い申し上げます。

生年月日 昭和22年 7 月19日

現 住 所 大阪市中央区島之内2-9-9

昭和44年 近畿大学理工学部中退

昭和52年 大阪鍼灸専門学校卒業

昭和52年 三木鍼灸院勤務

昭和59年 大阪鍼灸専門学校非常勤講師

昭和61年 三木鍼灸院院長

平成 9 年 森ノ宮学園理事

● 新理事・監事略歴 ●

理事長・校長 米 山 義

生年月日 昭和23年 9 月25日
 昭和46年 同志社大学文学部卒業
 昭和50年 大阪鍼灸専門学校卒業
 平成 5 年 森ノ宮学園副理事長
 平成 9 年 森ノ宮学園理事長・校長



理 事 坂 口 弘

生年月日 大正10年 8 月15日
 現 住 所 京都市左京区
 北白川東小倉町56

昭和21年 京都帝国大学医学部卒業
 昭和48年 医療法人聖光園細野診療所院長就任
 日本東洋医学会理事長就任
 昭和59年 医療法人聖光園細野診療所理事長就任
 平成元年 森ノ宮学園理事



理 事 三 好 雪 子

生年月日 昭和 6 年 2 月 9 日
 現 住 所 大阪市阿倍野区
 阪南町5-17-1

昭和26年 神戸女子薬学専門学校卒業
 昭和27年 現住所にて薬局開局
 平成 9 年 森ノ宮学園理事



理 事 清 水 巖

生年月日 昭和12年 9 月18日
 現 住 所 大阪市生野区
 林寺1-1-16

昭和31年 興国商業高等学校卒業
 昭和34年 大阪鍼灸専門学校卒業
 昭和34年 清水鍼灸院勤務 現在に至る
 昭和50年 大阪鍼灸専門学校非常勤講師
 平成 7 年 森ノ宮学園理事



理 事 森 俊 豪

生年月日 昭和30年 6 月12日
 現 住 所 大阪市東成区
 中道4-3-19

昭和49年 大阪市立東高等学校卒業
 昭和51年 大阪鍼灸専門学校卒業
 昭和51年 多留内科クリニック勤務
 昭和54年 森鍼灸院勤務 現在に至る
 昭和55年 大阪鍼灸専門学校勤務
 平成 9 年 森ノ宮学園理事
 大阪鍼灸専門学校教務課長



監 事 安 田 実

生年月日 昭和29年10月14日
 現 住 所 大阪府豊中市曾根
 西町3-14-1-303

昭和53年 関西大学法学部法律学科卒業
 平成 9 年 森ノ宮学園監事
 現在 阪急食品工業株式会社勤務



監 事 山 本 勝 巳

生年月日 昭和 4 年 9 月 1 日
 現 住 所 大阪府和泉市
 弥生町3-10-3

昭和23年 堺市立商業学校(旧制度 5 年)卒業
 昭和23年 大阪府勤務
 昭和47年～昭和53年 衛生部医務課指導係長
 (現 医療対策課医事第 2 係長)
 昭和58年～昭和60年 府立学校事務長
 昭和60年～昭和61年 大阪府泉州福祉事務所
 昭和61年～昭和62年 大阪府埋蔵文化財協会
 昭和62年～平成 9 年 大阪鍼灸専門学校事務
 局長
 平成 9 年 森ノ宮学園監事

ス タ ッ フ 紹 介

●教 務

教務の新体制を紹介します。教務は新校長の米山 義先生を先頭に、皆様おなじみの安雲和四郎先生が教頭として、陣頭指揮されます。

専任教員の宮川隆弘先生、佐藤正人先生、于 思先生は多くの授業をこなしながら鍼灸治療室で臨床にも携わっています。教務事務の北村知子さんは大量の事務処理に追われながらも、いつも元気いっぱいです。私こと森

俊豪は、教務課長を仰せつかり、教務のゲームメーカーとして務めます。教務は総勢7名の大所帯となりました。卒業生の皆様、求人や求職だけでなく、開業や日常の臨床の事でも、何でもお気軽にお問い合わせください。在校生だけでなく卒業生の皆様に少しでもお役に立てたらうれしいです。(森)



●事 務 局

事務局スタッフをご紹介します。左端は7期生から総務事務を担当してきている田畑京美姉。その右は6期生の皆さんからお馴染みの龍野高夫経理課長。右端は若林友子姉で、16期生このかた出納事務を担当しています。4期生以来お世話になっている中西栄一郎はその古生代的存在ゆえに!このたび山本勝巳事務局長の後を継ぐ次第になりました。事務局一同をこんごともよろしく願い申し上げます。(中西)



学校法人 森ノ宮学園 教職員名簿

大阪鍼灸専門学校

理事長 米山 義
校長 安雲 和四郎
教頭

教務

教務課長 森 俊 豪
教員 宮川 隆弘
佐藤 正人
于村 思子
教務事務 北 知子

事務

事務長 中 西 栄一郎
経理課長 龍野 高夫
事務 田畑 京美子
若林 友子

附属診療所

院長 田中 邦雄

内科

医師 生島 忍
薬剤師 宮澤 加奈子
藤本 由香子
看護婦 片山 ふみ子
細澤 由美子
立川 佳代

鍼灸室

室長 尾崎 朋文
鍼灸師 安達 操子
湯谷 達

事務

事務長 古谷 壽宏
事務 赤松 京子
四元 由香里

非常勤講師・職員

清水 巖	清水鍼灸院院長
花谷 幸比古	鶴見鍼灸治療所所長
三木 完二	三木鍼灸院院長
堺 章	大阪大学名誉教授
三宅 功	三宅医院院長
佐久間 徹	梅花女子大学教授
松田 涇	松田医院経仁堂院長
小野 隆章	ストレスカウンセリングセンター
小谷 晋二	薫英女子短期大学講師
北元 敏夫	同志社大学非常勤講師
片山 眞之	大阪府立大学教授
片山 洋子	大阪市立大学教授
河野 渡	河野歯科医院院長
安本 裕	なにわ病院副院長
山本 雄三	大阪府立大学名誉教授
志賀 健	金蘭短期大学教授
硯川 眞旬	仏教大学教授
渡辺 完児	大阪府立看護大学講師
下條 喜信	下條鍼灸院院長
尾本 禎男	尾本鍼灸院院長
坂本 豊次	坂本鍼灸院院長
政岡 忠	政岡鍼灸院院長
谷岡 賢徳	大師はり灸療院院長
才津 敏勝	才津鍼灸院院長
竹下 イキコ	竹下伊希鍼灸院院長
鈴木 絃	永楽鍼灸院院長
小笹 勝弘	小笹鍼灸院院長
河内 明	大阪医科大学麻醉科
築山 房乃	松井鍼灸院院長
奥田 功	奥田鍼灸院院長
松林 康子	松林鍼灸院院長
森 優也	チャイニック・メディカル倶楽部アンフィニ
清水 尚道	清水鍼灸院
井上 悦子	鍼灸 OSAKA編集員
二階堂 布美子	鍼灸 OSAKA編集員
大道 裕	高砂診療所

【後記】

一期生の米山 義先生が理事長・校長として就任されました。おめでとうございます。森 秀太郎先生らが築き上げられた大阪鍼灸専門学校の伝統を受け継ぎ、さらに発展していただくよう願っています。校友会としても母校発展のため尽力してゆきたいと思っています。(安雲)

大阪鍼灸専門学校校友会々報

臨時増刊号 (1997.7 発行)

編集発行責任者 安雲和四郎

●大阪鍼灸専門学校校友会●

〒537 大阪市東成区中本4-1-8 ☎(06)976-6889

●附属診療所



大阪鍼灸専門学校附属診療所は昭和57年に設立されました。母体が鍼灸学校ということで当初から東洋医学(漢方医学)を治療の中心にすえた医療を実践しています。東洋医学は湯液と鍼灸、養生の三つが一つになることが必要です。患者さんによっては附属の施術所と協同で治療にあたることも少なくありません。

●鍼灸 OSAKA



1985年4月に創刊された「鍼灸 OSAKA」誌は、現在、臨床鍼灸専門誌として高く評価され、全国の鍼灸師、医師、学生に幅広く読まれる雑誌に成長しました。校友会会員の諸先生に母校発刊の「鍼灸 OSAKA」誌の購読をお薦めします。きっと臨床の手引となることでしょう。出版部では主に「鍼灸 OSAKA」誌の編集と出版業務を行っています。スタッフはアイディアマンの安雲教頭と美女2人、井上悦子(3期生)、二階堂布美子(独身)です。
e-mail : kye02233@niftyserve.or.jp (井上)

ん。現在は月二回、診療所と施術所の両方で治療を受けておられる患者さんの症例検討会を行っています。(田中)

●附属診療所鍼灸室

本校附属診療所鍼灸室は、室長に尾崎朋文が就任、安達先生と協力して運営してきましたが、あらたに本校21期夜間部卒業の新進気鋭の湯谷 達先生が加わりました。また、教務から佐藤・宮川両先生が学生指導のため担当曜日ごとに参加され、地域医療としての鍼灸治療に、学生の臨床実習に、臨床研究に全員一丸で頑張っていますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。なお、現在、当内科受診患者の中には、遠方からの患者さんも多く、患者宅近くの鍼灸院の紹介を月数件行っています。つきましては、患者宅の近くの先生に紹介させていただきますので、その節は宜しくお願いします。(尾崎)

